

大歳交流センターだより



今年の大歳まつり(11/3)はミニSLが来るよ♪

人 数 13,202 世帯数 6,029 平成 25 年 9 月 30 日現在

No.56 平成25年11月号



発行 大歳地域交流センター
TEL 922-4035 FAX 922-4036
(行政窓口) TEL 922-2461



第14回大歳地区分館対抗

2分館までの混成チームもOK

ソフトバレーボール大会開催

バレーボールよりも大きくて軽く軟らかいボールを使う、誰でも、いつでも、どこでも楽しめるスポーツです。ご近所さんとの親睦を図り、日ごろの運動不足を解消するため、みんなで気持ちのいい汗を流しましょう。1チーム4人以上で編成します。※競技者4名(男女各2名)皆さん奮ってご参加ください。

日 時：11月24日(日) 開会式8:30~

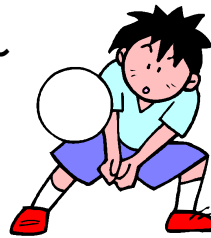
場 所：大歳小学校体育館

主 催：大歳体育振興会

主 管：大歳ソフトバレーボールクラブ

問い合わせ：大歳体育振興会事務局

(大歳地域交流センター内 TEL 922-4035)



「チャレンジ・ザ・大歳 ふるさとウォッチング」★参加者募集★

大歳の歴史を訪ねてみませんか？

この度大歳地区青少年健全育成協議会では「大歳ふるさとウォッチング」を行います。大歳史談会を始め、地域の方にご協力をいただきながら、大歳ゆかりの場所を巡り、身近な場所に詰まっている大歳の歴史に触れます。ウォッチングした後はみんなで一緒においしいごはんも食べます。是非奮ってご参加ください！

★当日手伝っていただけるボランティアの方も募集しています。

★今回のルートは交流センターから朝田方面を中心に旧石州街道など約10ヶ所のポイントを巡ります。

クイズもあるよー♪



対 象：主に小学生とその家族(保護者)

日 時：平成25年11月30日(土) 10:00~13:00(受付9:30~)

集合場所：大歳地域交流センター

持 参 物：筆記用具、水筒、ご飯茶碗、お椀、コップ、箸

申込期限：11月22日(金)までに下記申込先へご連絡ください

申 込 先：大歳地区青少年健全育成協議会(大歳地域交流センター内)

TEL 083-922-4035 FAX 083-922-4036

※小雨決行(大雨の場合は大歳小学校体育館で大歳ウルトラクイズを開催)



第36回大歳地区バドミントン大会結果報告



9月29日(日)大歳小学校体育館にて開催されたバドミントン大会の結果をご報告いたします。

Aブロック

優勝 上矢原B分館
準優勝 中矢原A分館
三位 和田分館

Bブロック

優勝 岩富分館
準優勝 上矢原A分館
三位 中矢原B分館

出場された選手の皆さんお疲れさまでした。



大歳走友会からのお知らせ

11月に入り、いよいよランニングシーズンとなりました。平成26年1月19日(日)に行われます「第9回山口市駅伝競走大会」に向けて大歳走友会も日々頑張っております。只今、駅伝メンバーも募集しておりますので、中学生以上で出場したいと思われる方、下記迄ご連絡ください。

なお、11月の「合同練習日」は下記の通りです。

日時 11月30日(土)

18:00~19:00

場所 維新百年記念公園テニスコート入口付近集合

問い合わせ 大歳走友会

代表 中野 (Tel.090-4893-2038)

一緒に
走りませんか?



はつらつクラブ 大人の居場所

朗読会 深まりゆく 秋を味わおう!

日時: 11月16日(土)

13:30~15:30

内容: ☆朗読会

・ 山本周五郎作「松の花」

・ 宮沢賢治作「注文の多い料理店」

みんなで詠んで楽しみましょう!

☆銭太鼓

場所: 大歳地域交流センター 2階講堂

参加費: 100円

問い合わせ: 斉藤 (TEL925-4103)

※ 申し込みは不要です。小学生から大人まで楽しんでいただけます。お気軽にお越しください。

大歳まつりプログラムの訂正について

10月15日号の市報と一緒に配布しました「大歳まつりプログラム」の掲載内容に一部変更がありましたので、お知らせします。

出店内容

- ・ ママさんバレーの出店を載せていましたが、11月3日当日、ママさんバレーの出店(だんご)はありませんのでご注意ください。ママさんバレーの場所で卓友会(ポップコーン)が出店します。

体育館展示

- ・ 個人作品の展示を「写真・書」と記載していましたが、絵画の展示もあります。

交流センター前庭の消防機庫と倉庫の建て替え工事について

前回の交流センターだよりで、交流センター前庭の消防機庫と倉庫の建て替え工事が10月中旬から始まるとお知らせいたしましたが、予定より遅くなり、工事の着工が11月中旬となる見込みです。工事期間中は駐車台数が減るなど、皆様に大変ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

親子料理教室参加者募集

秋を食べちゃろう！ 炭火でサンマを焼こう！



メニュー

ごはん

秋刀魚(炭火で焼くよ！)

豚汁

ほうれん草のおひたし

さつまいものチーズようかん



日 時：11月10日(日)

10:00~12:30

場 所：大歳地域交流センター

会 費：200円

持参品：エフロン

定 員：先着20名(定員になり次第締切)

申し込み：大歳地域交流センター

(TEL922-4035)

担 当：山口市食生活改善推進員

母推さんの子育て応援講座 食育



おいしく楽しく朝ごはん

☆忙しい朝☆

手軽でおいしい朝ごはんを教わります。親子でしっかり朝ごはんを食べましょう！！



日 時：11月13日(水) 10:00~12:00まで
(受付9:30~)

講 師：食生活改善推進員(大歳地区)

場 所：大歳地域交流センター

対 象：乳幼児とその保護者 15組

持ってくる物：エフロン、三角巾、子どもの飲み物(名前をつけて)

申込み：大歳地域交流センター (TEL922-4035)

託児もあります！



【大歳地区 11月の行事予定】

火曜日 パソコン相談日(中級)【10:00~12:00】

金曜日 パソコン相談日(初級)【9:00~12:00】

※第2金曜日(8日)は13時から16時

1日(金) 燃やせないごみの日

1日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

3日(日) 第37回大歳まつり(9:30~15:00)

8日(金) 健康・介護予防相談(受付10:00~11:30)

13日(水) 子育て応援講座(10:00~12:00)

15日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

18日(月) 金属・小型家電製品の日



20日(水) びん・缶の日

22日(金) 子育て支援 “太陽クラブ”(10:00~13:00)

24日(日) 大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会

27日(水) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

27日(水) 子育て広場 “風和里” (10:00~15:00)

29日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

29日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

30日(土) 大歳ふるさとウォッチング

※木曜日はプラ容器包装分別収集



周布政之助(3) 幕末期、毛利藩財政の立て直しをした

天保 11 年(1840)の長州藩の年間予算を見ると、江戸方請（江戸藩邸の予算）は、銀で 2,296 貫目、地方請（国元の予算）は 1,494 貫目、計 3,790 貫目（現在のお金に換算して 54 億 4 千 800 万円～75 億 8 千万円に相当）で、江戸と国元の比は 6 対 4 であり、江戸に如何に無駄金を使っていたかがわかると思います。このため、年貢収入の 37 年分にもなる巨額な借金を負うことになり、租税 4 公 6 民だったのが 5 公 5 民になったり、当然、一揆も発生しました。このような状況は、必然的に倒幕の芽生えが生じることになると思いませんか。ここで村田清風・香川景長が財政改革を担当しました。村田清風は「病翁宇波言」のなかで天保 2 年の大一揆に言及し、「洞春公以来の国地を、百姓共蹈荒したるにあらずや、此乱何事より萌(き)さしたるか、克々(よくよく)工夫のあるべき事なり。罪は政をなす人にあるべし」と述べ、民に責任はないと言いきって、改革の中心を藩財政の再建におきました。各種の再建策を打ち出していますが紙面の都合で大半を省略しますが、一例を述べますと、藩士の私債（商人からの借金）は藩が肩代わりして、37 ヶ年元金を据え置き、年利 2 朱払い、元金は最後の年にまとめて返却するという踏み倒しに近いものでしたから、商人や一部藩士から批判が出て、弘化元年（1844）清風は退陣するはめになりました。坪井九右衛門が後を継ぎましたが、藩士の私債は全額返済などの政策をとり、結果として清風が苦心した藩財政再建は大きく後退しました。

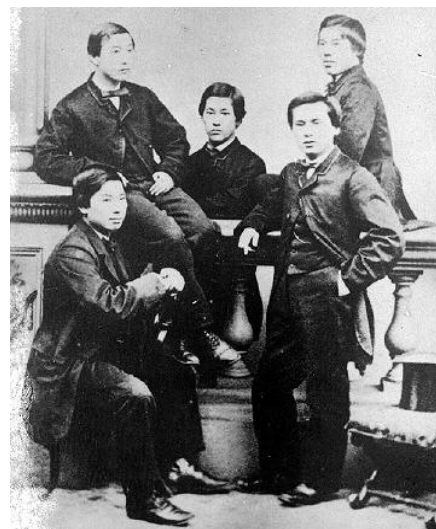
ここで、周布政之助が登場し、坪井九右衛門と激しい政争を繰り返しながら村田清風の藩政改革の方向は継承され、安政 5、6 年にいわゆる安政改革を断行しました。彼はまず人材の登用を計り、上級武士に代って有能な下級武士が政策に参加できる道を開き、柔軟な頭脳による洋学の吸収や洋式兵器の整備・農兵取立を中心とする軍事改革などを推進しました。農村に対しては豪農商から米銀を献納させ、それを村落に還元して治水や困窮農民の救済に当てその動揺を防ぎました。特に豪農商を「産物御用掛」に任命して農民的商品経済に応じる態勢をとりました。これによって村落内部における豪農商層の指導性が確立し、やがて彼らは、受益のお返しとして、討幕期の長州藩の戦費を支え維新推進への強力な力となったのです。

安政 6 年（1859）、下関竹崎の薩州問屋白石正一郎によって提案された「薩長交易」については、藩は勸農御内用掛、中野半左衛門・山本寅蔵らに検討を命じ、藩と藩との交易という形式で開始されることになりました。また、政之助は、井上聞多（馨）ら新政府で近代化の中心となって活躍した長州ファイブをイギリスへ密かに渡航させました。この渡航費用は厳しい財政下でしたが、撫育方（藩内の土地の調査によって増えた税のこと）の資金で賄いました。

（大歳史談会、
文責：井手明雄）



萩藩御用商人熊谷家の住宅（萩市今魚店町にある）



左上が遠藤謹助、左下が井上馨、中央が井上勝、右上が伊藤博文、右下が山尾庸三